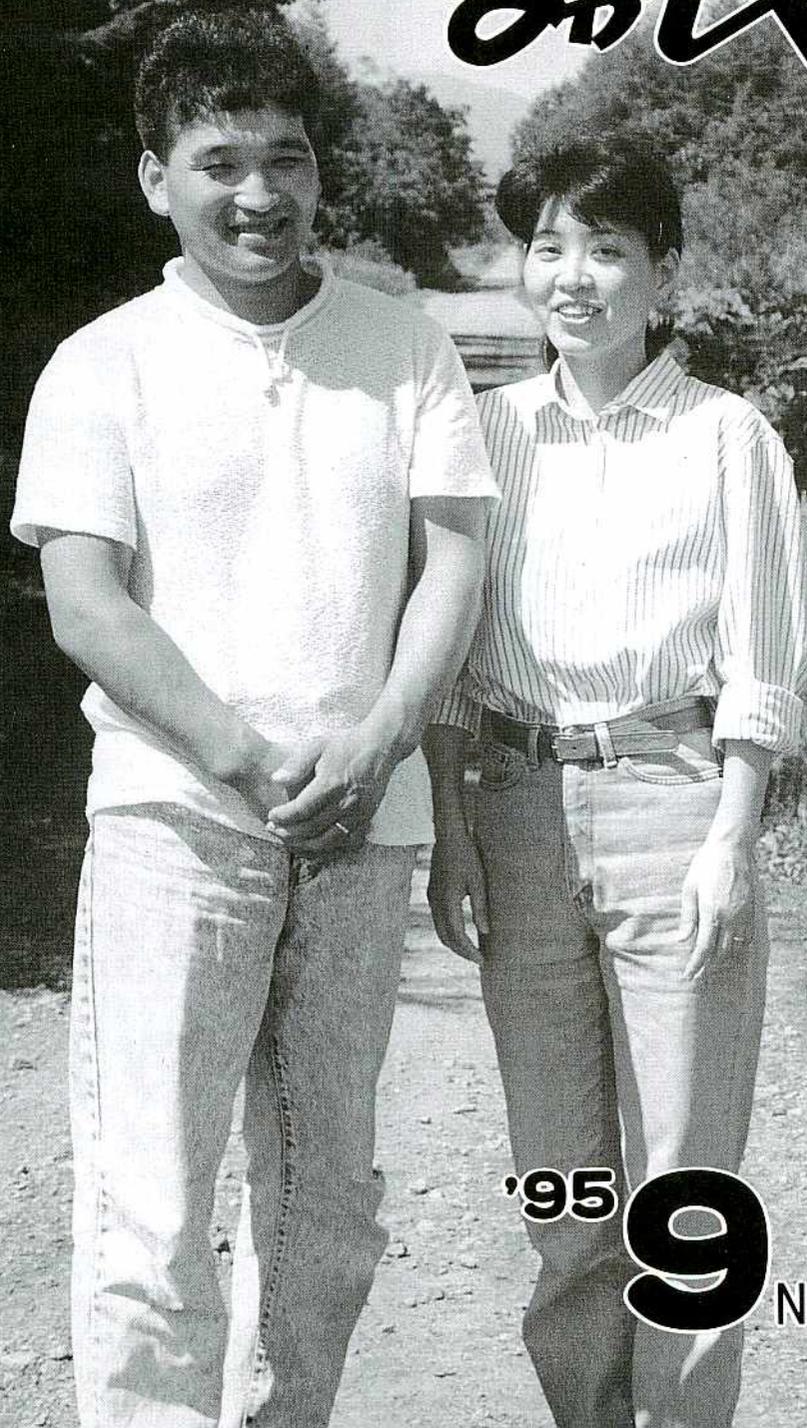


# のうきよう ちがしづ



'95

9

No.249

# のうきょう ちゅうびつ

当幌地区酪対でつたイメージ看板。  
環境整備と乳質の向上を願い、  
酪農のイメージアップに、地域全体で  
取り組んでいます。



## もくじ

- 3 ———— 〈未来を担う若者〉  
良い牛づくりで経営メリットを  
山崎幸雄さん
- 4 ———— のうきょうふれあい広場
- 6～7 — 〈営農技術〉  
たかが体細胞、されど体細胞
- 8 ———— 〈ファイト&トライ・輝く女性〉  
チャレンジ精神を忘れずに  
高嶺地区 横田純子さん
- 9 ———— 農業・農村づくりフォーラム  
農業の発展と地域の活性化を考える
- 10 ———— Jrホルスタインクラブ  
合同サマースクール
- 11 ———— 〈組合長日誌〉  
健康について考える
- 12～13 — 〈ミルクタイム〉  
楽しかった農業体験学習
- 14 ———— 平成7年度生乳計画生産決定
- 15 ———— 〈理事会の経過〉  
第6回理事会
- 16～17 — 〈暮らしの知恵袋〉  
長い目で生活を見つめよう
- 18～19 — 今月のフォトアルバム
- 20 ———— 8月の組合日誌

# あす 未来を 担う若者

しょうこ

侯落 山崎幸雄さん・正子さん(旧姓・辻井)



楽しみのもてる酪農作りを目指す幸雄さんと正子さんです

「将来は良い牛づくりで有名になりたい」と話す山崎幸雄さん。一方の正子さんは「今は毎日の暮らしの中で、少しずつ色々な事を覚えて行きたい」と明るい笑顔で話してくれました。

二人は、昨年十一月に大阪で開催された、関西女性と北海道農業

産牛。「この牛が体型も良く、牛乳もたくさん出してくれれば、かならず経営メリットは上がる」と自信を持つ。

奥さんの正子さんは、大阪生まれの大阪育ち、府立四条畷高校を卒業し、大阪府庁に勤務、おもに事務の仕事を担当していたといい、

と草を食んでいる姿や、すっきりと見えた摩周湖がとても印象に残っているそうです。また、摩周湖の話では、ツアー中、バスガイドさんが、「霧のない摩周湖を見た人はお嫁に行けない」と話したそうので、この事を非常に気にかけていたそうです。

## 良う牛づくりで経営メリットを

青年との交流会で出会い、八月二十六日、佐藤載康様ご夫妻のご媒約により、結婚という素晴らしい人生のスタートをきりました。

幸雄さんは、侯落地区で乳牛約百十頭を飼養する山崎民蔵さんの後継者で、地元小中学校を卒業後、道立農業大学校に進学し、農業の基礎知識を習得。現在家業の酪農をつぐべく、良い牛作りに力を注ぎ、各共進会でも活躍中です。

幸雄さんの牛作りに対する考え方は、あくまでも自家生産牛を基本に、その中で改良を加えて行くというもので、山崎牧場の牛舎につながれている牛は、すべて自家

おどろく事に、両親とも大阪府庁に勤務する府庁一家との事。北海道へは二度ツアーで来た事があり、牛が緑の草地でのんびり

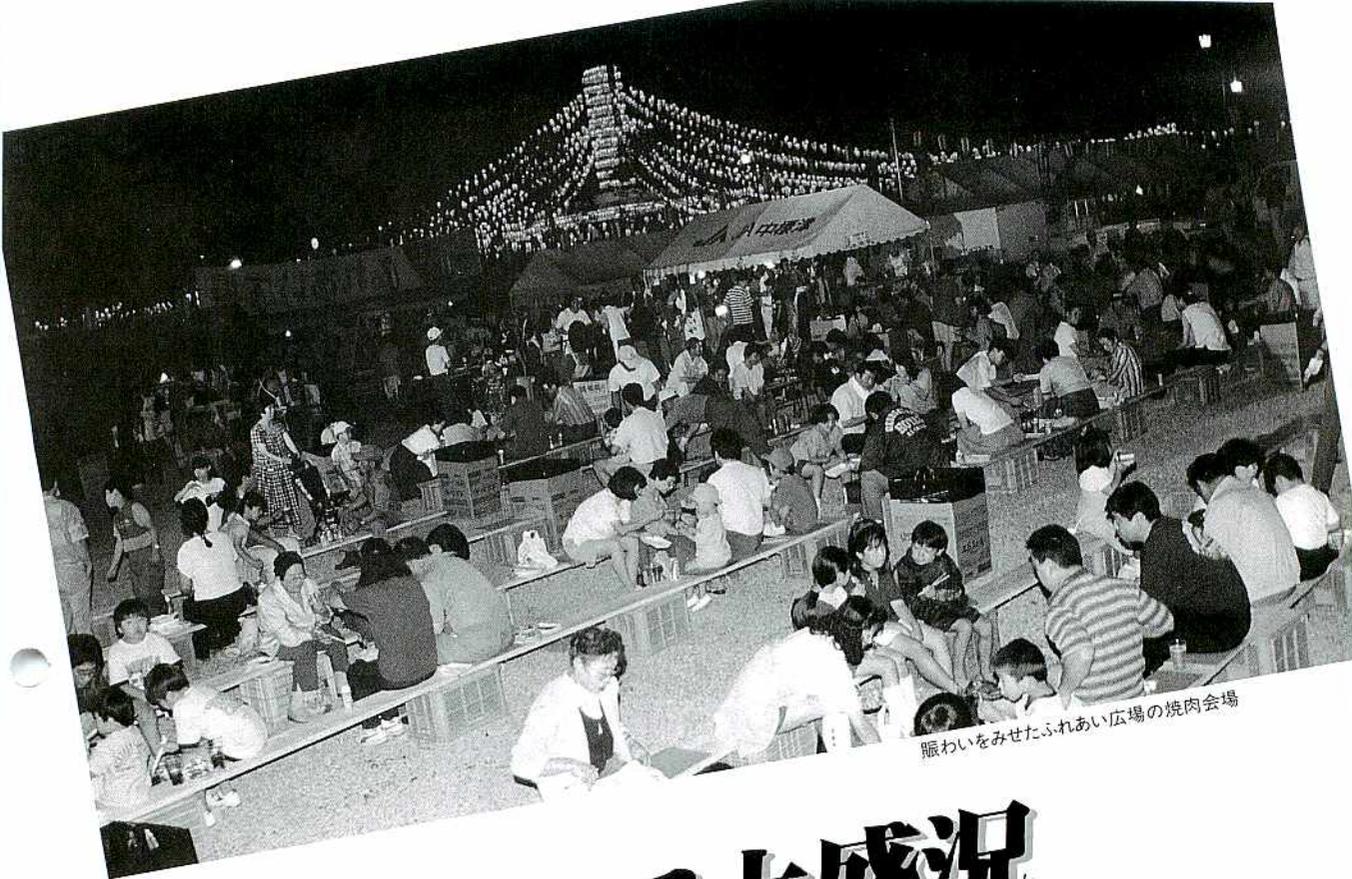
自然のつな  
がりを大切に、ゆとり  
を求め楽しめる



そんなある日、新聞に掲載されていた北海道農業青年との交流会募集の記事が目にとまり、なんとなく応募して見ようと思ったそうです。交流会では、カゼをひいて不調だったという幸雄さんですが、テールブルティスカッションの中で正子さんとフィーリングが合い、色々な話が出来たといいます。

お互い良い印象の中で別れた二人は、その後、手紙や電話で愛を育くみ、ハッピーウエディングを迎えました。

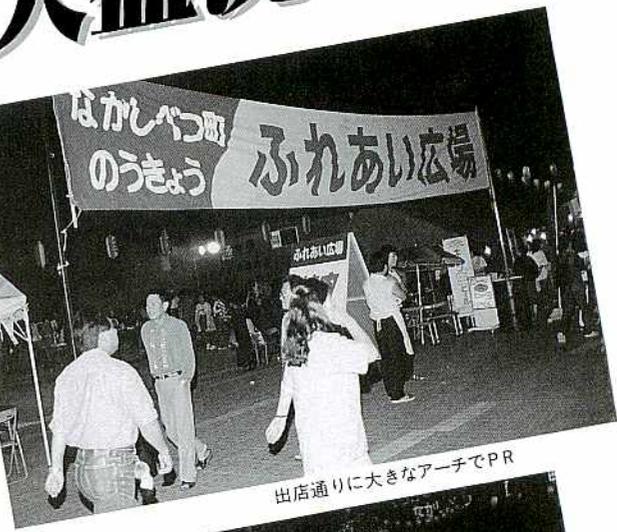
「広く、素晴らしい自然の北海道が好き、その中で通い合う人と人とのつながりを大切にしたい」と正子さん。「良い牛作りを目指し、ゆとりを求め楽しめる酪農にしたい」と話す幸雄さんは、山崎家の未来を担う事でしょう。



賑わいをみせたふれあい広場の焼肉会場

# 観光まつりで大盛況

なかしべつ  
ビーフの  
美味しさに  
舌つづみ



出店通りに大きなアーチでPR

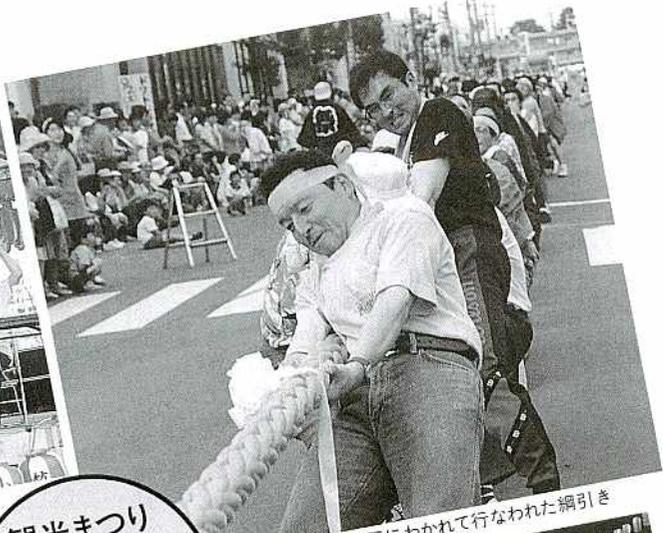


大好評の牛丸焼き、これから販売されます

例年雨に悩むふれあい広場も、今年には朝から夏本番の晴天に恵まれ、関係者もひと安心。

今年は、会場が丸山公園から町総合文化会館前に移った事から、多少のアクシデントはあったものの、正午から焼肉部門が店開き、なかしべつビーフに、牛バーベキュー（丸焼き）などが販売され、沢山の人が出で賑わいました。

また、その他の出店部門では、なかしべつフーズがPRをかねたいものもちの販売、新鮮野菜でおなじみの中標津町野菜生産組合や農協青年部、婦人部がアイデア凝



観光まつり  
では、日本一の  
綱引きや  
よさこい  
ソーランも

600人の町民が東西にわかれて行なわれた綱引き



東京  
ディズニー  
ランドは  
釧路の小学生

正解は〇×どちらでしょう



# ふれあい広場

中標津町農協ふれあい広場が、第39回なかしべつ観光まつりに協賛し、8月16日、しるべつと前特設会場で開催されました。

らした、農畜産物の消費拡大のPR販売を行いました。

アトラクション部門では、青年部の「祝開町五十年超ウルトラクイズ」が、しるべつと前広場ステージで、午後十二時三十分からスタート。優勝の「東京ディズニーランド二泊三日ペアー招待」を日指し、約百人がクイズに挑戦しました。このウルトラクイズでは五つの難関（〇×関門、封筒関門、早飲み、早食い関門、イス取り関門、早押し関門）が行なわれ、最終三人が勝ち残り、みごと優勝の東京ディズニーランド旅行を射止めたのは、釧路の小学生でした。

さらに準優勝には阿寒ビューホテル一泊二日ペアー招待、三位にはトーヨーグランドホテル二万円の食事券がそれぞれ贈られました。

また、今年の観光まつりは、開町五十年を記念した日本一といわれる町民六百人による東西対抗綱引きを始め、ヤングパワーあふれるよさこいソーラン踊り、ヴェルディ川崎の選手を招いたサッカー教室などの催しも行なわれ、盛況の観光まつりとなりました。

# たかが体細胞 されど体細胞

毎旬農協よりファックスで届けられる「体細胞数情報」、常に一万台の農家から、三十万を超えたり、下回ったり三十万ラインの攻防に神経をすり減らしている農家など、その推移を見る限り変動幅は小さく、その農家の指定席になっているようです。

ここでは、体細胞(乳房炎)は経営の「ガン細胞」であり、体細胞が経営に及ぼす影響や恐ろしさについて考えてみたいと思います。

## 一、体細胞とは

体細胞は、乳腺の上皮細胞と炎症の結果生じる白血球の死がいといえます。乳腺細胞は古くなると新しい細胞に作り替えられ、古い細胞は乳汁と共に排出されます。

これは、生理的体細胞といい、一ヶ月中五〜二十万位あり問題とは

なりません。しかし、これより多い体細胞は、白血球の死がいということになり、乳房炎にかかっていることを意味しています。

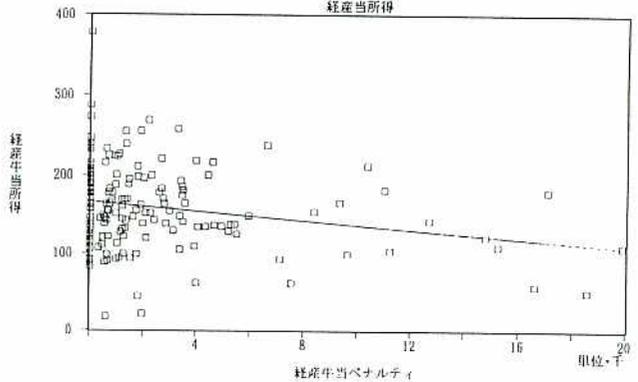
二、体細胞が経営に及ぼす影響  
○ペナルティによる直接損失

どこの農協も三十一万以上の体細胞数には、ペナルティを課しています。図一は、管内A農協の平成六年経産牛当たりのペナルティと所得を見たものです。

相関は、決して高くはありませんが、経産牛当たりペナルティの多い農家ほど所得は低くなっています。中には、年間百万円以上も払っている農家があり、経営への影響は明らかです。

体細胞数は経営の内容を表すバロメーターといえます。  
○乳量減少による損失

経産牛当ペナルティと  
経産当所得



体細胞数と経産牛当たり乳量の関係を見たのが図二です。

経産牛当たり乳量は、繁殖性や飼料給与に大きく影響を受けますが、体細胞数との関係を見ても高い相関が見られます。特に体細胞数三十万以上には七千錠以上の農家はいません。

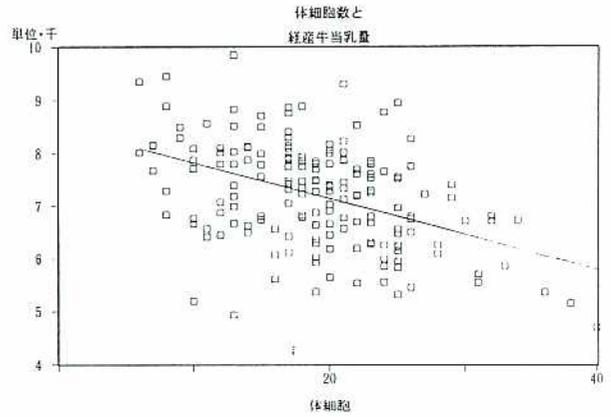
乳房炎の影響による乳量損失が多いといえます。

○乳房炎治療費、廃棄乳の損失  
体細胞数の多いところほど乳房炎にかかっており、治療費や抗生

## 共計でん粉



平成六年産でん粉の販売状況は、七月末仮配分累計一袋当り一千六百七十五円(前年同期二千二百九十九円)と前年より六百二十四円、単価による進捗率は前年比七二・九割と前年同期を下廻っております。また、産地倉渡し二千七百二十五円(三千三百二十五円)(前年二千七百五十円(三千三百二十五円)、東京倉渡し二千九百二十五円(三千四百五十円)(前年二千九百五十円(三千五百二十五円))となっております。なお、馬鈴しよと競合するコーンスターチは、前年同期と同じ一千九百五十円となっております。



逆にお金になる瞬間の収穫の喜びとなるべき労働が、最も苦痛な作業となっています。

### 三、恐ろしいSA（黄色ぶどう球菌）地獄

環境性乳房炎は、治療により治せますが、SAは治療が難しく乾乳期治療でも六十程度しか治らないといわれます。さらに恐ろしいのは、ミルクや人の手を介して健康牛に伝染するという事です。

今年の六月に同じ農家の再度実施しました。結果は表のとおりです。

この結果を見て驚かされるのは、調査農家の約八五割にSAが検出され、次年度においては更に約八八割に増加していることです。SAにかかった牛は、いなくならず（対策を講じれば確実に減らせる）、牛群にまん延していることを示しています。

治療しても乳房炎にまたかかる、分房をつぶす、三本乳や二本乳になる、最後に淘汰となります。大きな損失です。

○作業効率の低下、精神的負担  
搾乳中通路にクウォーターミルカーが所狭しと並べられ、走り回っている搾乳作業を見かけます。このような状況で、衛生的搾乳や牛の体調観察などできると思えません。

### 四、急がれるバルク乳スクリーニングと分房検査

環境性乳房炎は、搾乳環境や搾

年	戸数	SA戸数	SA割合
H6	465戸	393戸	84.5%
H7	448戸	392戸	87.5%

根室管内バルクスクリーニング調査結果  
対象農家：H6.4~6月平均26万以上

乳手順の改善、パドック整備などで減らせますが、SAについては、徹底した乳房炎起因菌検査と新たな対策が必要になります。

体細胞数を三十万以下にしようと、出荷調整に神経を使い続けると、出荷調整にもなりません。

バルク乳検査に基づく分房検査を実施し、牛群に広がりつつある「伝染病」のSA対策を早急にすすめるべきです。

二千一年を見据えた経営戦略とは、地に足のついたこのような取り組みを一つひとつ実施していくことと言えます。

たかが体細胞されと体細胞です。

## 3カ月予報

北海道地方長期予報



日本気象協会北海道支部

気象概況 この期間、天気は周期的に変わりませんが、気温の変動がやや大きいでしょう。この期間の気温、降水量はともに平年並の見込みです。

九月 前半は低気圧や前線の影響で曇りの日が多いですが、後半の天気は周期的に変わるでしょう。気温の変化が大きい見込みです。

十月 高気圧と低気圧が交互に通る、天気は周期的に変わるでしょう。

十一月 低気圧と高気圧が交互に通る、天気は周期的に変わるでしょう。

一時冬型の気圧配置となって、日本海側では曇りや雨または雪の日がある見込みです。

# チャレンジ精神を忘れずに



「なんでも楽しめば、イキイキできるのよ!」とこの笑顔

①  
ファイト&トライ

## 輝く女性

高嶺地区  
横田純子さん  
(52歳)

婦人部の部長として、また北海道指導農業者としての忙しい毎日を通して元気に過ごしています。婦人部長として四年、活動の中では、いつも楽しい会話の中心となり明るさをふりまっています。「みんながたくさん集まって、楽しい活動ができれば」との気持ちを持ち、婦人部の活動を盛り上げ

今月号からシリーズ「輝く女性」を企画いたしました。家事、経営を支える農村婦人のがんばる姿をご紹介します。

取材の際はご協力をお願いします。

「女性は一家の太陽にならなくちゃ」と話す、第二侯落の横田純子さんは、J A 中標津

部員をひっぱっていつてます。

「農村婦人は、それぞれが家庭で明るく輝いていけば、地域の活性化にもなると思う」と女性の役割は重要であると話し、また婦人同士のコミュニケーションは、地域の中で、そして農村全体を明るくできる大切な事だと、地区の集まりや婦人部の活動を通して実感しているようでした。厳しいと言われる現在の農業ですが、「大変だと言っ

て、厳しい顔をしていても仕方ない。それなら楽しい顔をして過ごした方が得でしょ」といつでも前向きな姿勢が、横田さんの魅力のひとつなのでしょう。



婦人の  
コミュニケーションは地域の  
活性化に



研修会では各地区の婦人の方々と出会うのも楽しみ

り、話しを聞いたり、土地を見たり視野を広めて、自身の向上を図ろうと意欲は満々。  
「外身はもういいから(?)中身を磨いていきたい」と、チャレンジ精神を忘れずに、ますますパワーアップしてゆく横田さんです。

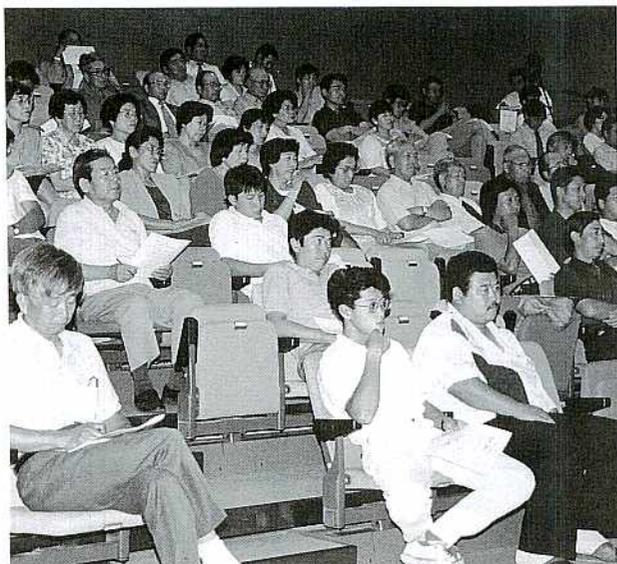
家族の健康管理を考え、家庭菜園にも力を入れているとのこと。かわいい孫に囲まれて、「けっこう大変」と言いながらも、経営をしつかりサポート。縁の下の力持ちとなつて、家族を支えているのです。これからも色々な人と出会った

## 農業・農村 づくりフォーラム

それぞれの立場で  
何を成すべきか

# 農業の発展と 地域の活性化を考える

中標津町の魅力あふれる農業・農村を考える「農業・農村づくりフォーラム」が8月22日、町総合文化会館（コミュニティホール）で開かれ、基調講演やパネルディスカッションが行なわれ、参加した町民からも数々の意見が交わされました。



会場には農業者をはじめ一般消費者の方も多数参加しました



ピンチをチャンスにと講演を行なう新道氏

このフォーラムは、健全でゆとりある農業経営や活力とうるおいのある地域づくりを、農業者や他産業、消費者など、それぞれの立場で何を成すべきかを考える場として、中標津町が主催し、約百三十人が参加しました。

基調講演では、札幌で氷雪の門などの飲食業チェーン店を展開する新道喜久治氏（日本フードサービス元会長）を講師に「『廻れ右』一番論、ピンチをチャンスに変えよう」のテーマで行なわれました。

この中で新道氏は、量から質への生産と地域おこしには女性の活力が必要、また、素晴らしい自然環境を生かした滞留型の町づくりをと話され、町長には、町のセールスマンとして道外へPRに出向く事が大事とつけ加えました。

続いて、パネルディスカッションでは、「農業の健全な発展と地域の活性化を考える」をテーマに行なわれ、パネリストの安田稔氏（当幌酪農家）は、「自分の夢を持ち、その中で大小の目標に向かって取り組んで来た」と実践例が話され、高岡召子氏（網走市・卯原内酪農生産組合）は、「週一回の休みや給



パネルディスカッションでは、地元・安田稔氏がパネラーとして提言しました

与制、生活のゆとり」など法人化での利点が紹介されました。また、杉本剛氏（中標津町消費者協会事務局長）は、「消費者として『健康と食』の観点から食品の安全性についての取り組みなどが述べられ、コーディネーターの原田要氏（道立根釧農業試験場専門技術員）の司会で討議されました。

また、この会場からも、「夢を持つ話ではなく、厳しい現実の中でどう進むのか」や「自分でやっている農業は素晴らしいと感じている」、「農業での付加価値を考えて見ては」など農業者や消費者からの意見も出されました。

# 健康にいつく考える

夏の強く暑い陽ざしを待っているうちに、八月に入り、お盆が過ぎ、いつの間にか秋風の吹く様になってしまいました。

雨の合い間を縫っての乾草作業が漸く終わった夜、熱を出して数日間、床に書いてしまいました。

牛飼いが牛舎に行けない事が本人にとっても、家族にとっても大変な事だと改めて痛感しました。

バーンクリーナーの音、ミルクの音が、牛舎の作業の進行状況を伝えてくれます。

二人分の仕事を一人で行なう家の人の帰りを寝て待っているのは、本当につらい思いでした。

その様な日々を経て、家族や、農協に迷惑をかけながら漸く元気になりました。

今は病気の時のつらさも、反省もすっかり忘れ、以前の様に、飲み過ぎ、食べ過ぎ、運動不足の不健康な日々を送っていますが、改めて健康について考えてみます。

人々にとって健康は当り前のこ

と思い勝ちで、健康に対する注意や関心、感謝が不足している様です。

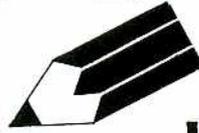
健康は富や、地位、仕事を越えて大切なものであり、健康である

● 今月のたより……

## 組合長日誌

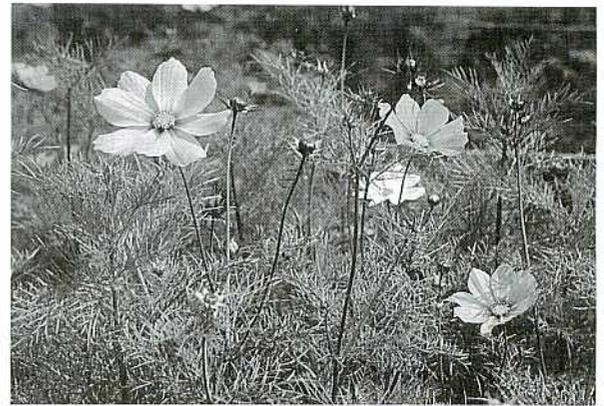
代表理事 組合長

三友 盛行



が故に良い仕事が出来、経済に恵まれ、家族と仲良く、心も明るくなります。

人の健康もさる事ながら、酪農家にとっての牛、畑作農家にとつ



ての作物の健康も大切な事です。以前に比べ、牛の疾病が大巾に増加しており、家畜共済の掛金も廃用の受け取り金も増えています。人の発病の大きな要因の一つに疲労、過労があります。

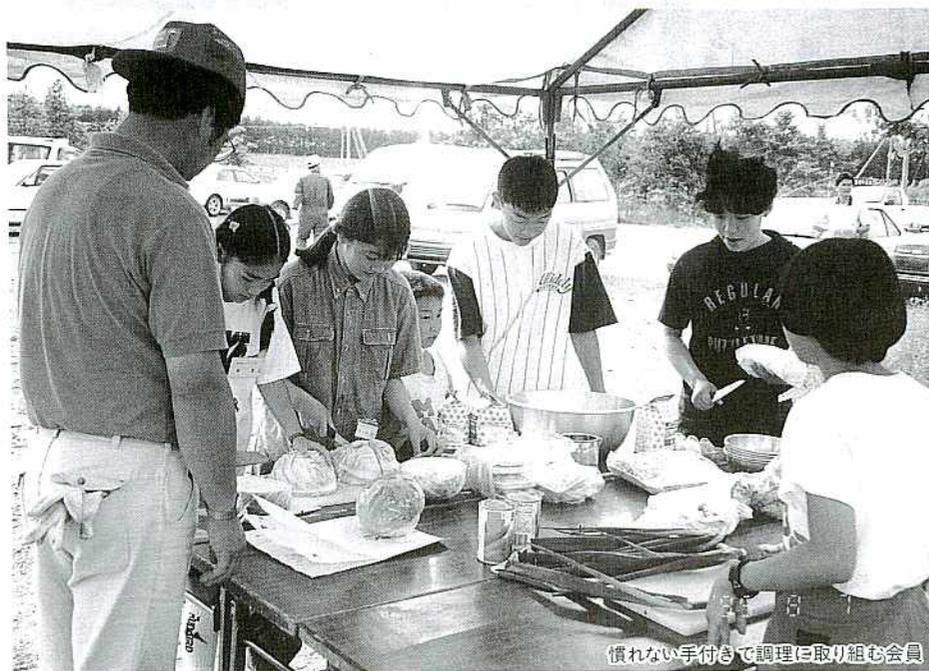
普段は何んでもないことでも、睡眠不足や疲れている時は抵抗力が落ちて、病気にかかり易くなります。牛の疾病の増加も牛の疲労にあります。今の乳牛は、人間同様に、美味しい配合の多食と運動不足、加えて、牛乳の大量生産の

ため、肉体のフル稼働と過労気味です。牛は言葉を話せませんが、身体の状態、動作で飼い主に訴えています。牛のいい分にしつかりと口と耳をかし、応えてゆきたいものです。牛乳の体細胞数の改善がはかばかしくありません。乳房炎を含めて、体細胞の増加は乳牛の健康と密接に関係があります。健康な乳牛から生産される牛乳は結果として、生産者にとっても消費者にとっても、安全で美味しい良い牛乳なのです。健康な牛のためには良い草が必要であり、良い草は良い土によって生産されます。

土も生きています。いいかえれば、原虫、微生物、菌糸類、ミミズが適正に住み、働いている土壌です。今の土は多収という期待を背負って、やはり、過労気味です。農業は人々の生命を支える大切な仕事です、故に持続しなければなりません。持続するためにも、人が健康であり、乳牛、作物、草、そして上までも健康でなければなりません。それぞれの分野における健康について、改めて考えることも大切だと思いました。

# 毎分の調理挑戦

第四回根室管内ジュニアホルスタインクラブ合同サマースクールが、八月七日〜八日中標津町拓友会館で開催され、管内から四十人（別海二十八人、計根別二人、中標津十人）が参加しました。



慣れない手付きで調理に取り組む会員

## 将来の酪農を担う仲間が交流

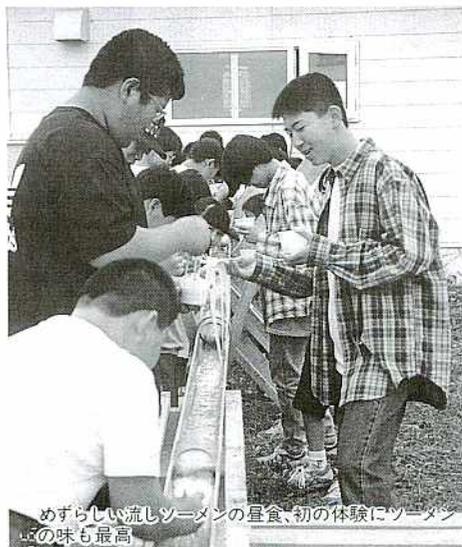
この合同サマースクールは、牛飼いの基礎技術の学習と会員相互の交流を深めるため、夏休みを利用して毎年実施されているもの。

まず、中標津ジュニアホルスタインクラブ運営委員長の佐々木昭雄氏のあいさつで開村。

### Jrホルスタインクラブ 合同サマースクール

今年「自分達の力で！」をモットーに、普及センターの福井氏の指導のもと調理実習に挑戦。グループごとにそれぞれの献立を慣れない手付きで、とまどいながらも積極的に取り組み、お好み焼き、イモダンゴのミルクしるこ、サラダ、フルーツポンチの四メニューを自分たちの手で作り上げ、夕食の試食会では大好評となりました。その後、各クラブ紹介や花火大会肝だめしなどが行なわれ、交流を深めました。

二日目は、全員揃って元気にラ



めずらしい流しソーメンの昼食、初の体験にソーメンの味も最高

ジオ体操で始まり、自慢のカレーライスで腹ごしらえ。

この日は、野外でリードマンスクールの学習会を予定していましたが、あいにく雨のためカルタ大会に変更。それでも子供たちは元気いっぱい、会館内を賑わせて、来年も参加したいと声を弾ませていました。



将来の酪農を担うJrたち

MILK

みるく・たいむ

TIME

## 小学生農業体験学習

根室地区農協青年部連絡協議会主催による第十一回、小学生農業体験学習が八月二日～四日実施され、管内各小学校から四十二人が参加。中標津町農協青年部では部員宅二戸に二人ずつ四人が受け入れられました。二泊三日の農業体験での思い出を作文にしてみましたので紹介いたします。

### 農業体験学習に来てみて

中標津小学校

五年三組 吉原 琴美

私は、農業体験学習に来て思ったことは、高橋さんはとてもこわそうに見えたけど、とてもやさしい人でした。

最初に私たちは牛のえさをあげるところをはいたり、タオルをたんだりしました。以外とかんたんでした。でも大人の人たちがやっている乳しぼりは、少しむずかしそうでした。私は、乳をふくの

はお手伝いできました。でも、ほかの事はわからないので見ていました。

牛舎の仕事が終わったあとは、高橋さんちの子ども三人と遊びました。あまり仕事はやっていないけど、とてもつかれました。

二泊三日でいろいろな事がわかりました。これからもこのことをわすれないで、また、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。



乳ふきのお手伝いもできました

### とても楽しかった農業体験

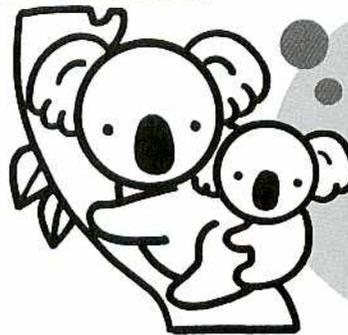
中標津小学校

五年三組 木村 公美

私は、農業体験に参加して良かったと思いました。

それは、おじさんがはじめてなのに、やさしくしてくれたことや、仔

婦人海外  
研修に参加  
しませんか



今年  
は  
オーストラリア、  
ニュージーランド  
12日間の旅

昨年から実施してまいりました婦人によります海外視察研修も、ヨーロッパ旅行に続いて、今年も希望の多い、オーストラリアとニュージーランドの旅を企画しております。オーストラ

牛にえさをあげたりしたことです。

私たちは、二時ころについてしまったので、他の酪農家を見てまわりました。そして帰った時に四時ころだったので、まだこんなに時間があるので、がっかりしました。

そして、やっと五時になって、搾乳の準備に入りました。

搾乳でしたことは仔牛にえさを上げたり、小麦のからをしいたりしました。また、親牛にも、えさを上げました。とても力がある仕事です。

そして七時に夕食を食べて、お風呂に入って、ねました。

その次の朝五時ころに目が覚めると、とてもねむかったです。でも、とても楽しかったです。

### 農業体験学習をやってみて

中標津小学校

五年三組 斉藤 奈奈

私は、農業体験学習をやって、心のこったことは、牛のエサあげです。あんまりやるのがなかったけど、エサあげは、楽しかったです。

高橋さんが、「牛には、エサの量



自分たちで作ったバターで楽しい昼食

があるんだよ」とおしえてくれました。「この牛は、乳だすから山もりいっぱい。この牛は乳ださないから、半分」などなど、おしえてくれて、勉強になりました。そのあと、牛の乳をタオルでふきました。

最初、なんだかこわいなと思っただけど、やってみたらけっこうかたんでした。

次の日、午前中牛の絵を書きました。牛は最初二頭くらいしかいませんでした。けれど、そのうち二頭ともいなくなってしまいました。そして、「ペーペー」とよんだらたくさんきて、なんか、こわか

ったです。でも、きれいに書いてよかったです。

また来年もやりたいな。

### 楽しかったこと

中標津小学校

五年三組 木村 真実

私は、農業体験学習をやった良かったと思います。

引き取り先は、山田さんといって、農業を三人でしているお家です。私は、木村公美さんといっしょにいきました。私達は、子牛のせわなどをおもにやりました。

夕方の搾乳は、まず子牛にミルクをやって、子牛のねどこを作ってやります。それから、かれくさをあげて、親牛には、かれくさをいっぱいあげておわりです。

私はミルクをあげるときに、「だあ〜」とながされてしまいました。でも、おいしそうに飲んでいたので良かったなあ〜と思いました。

山田さんは、とてもやさしい人たちでした。またこんどあそびに行きたいです。

とても、しんせつにしてくれたのでうれしかったです。



南島のミルフォードサウンドを遊覧船上から見物

申込先 中標津町農協営農部

あり)

旅行金額 四十六万円(無利息、八十万円の融資制度

旅行期間 中標津発着で十二日間

実施時期 平成七年十一月下旬

ようご案内いたします。

# 平成七年度生乳計画生産決定

## I 全道

### 一、生産枠設定の考え方

平成七年度生乳計画生産については、中央酪農会議から平成六年度当初目標数量の一〇二・八割を基礎目標数量として仮通知を受けていますが、生乳需給環境の好転を背景に昨年十二月の道農協酪農本部委員会において、営農計画の目安を平成六年度修正出荷目標数量対比一〇三割にすることを決定した経過から、全道の出荷目標数量を以下のとおりとし、取り進めるものとなりました。

#### (1) 全道出荷目標数量

三百三十九万四千二百六十五リットル

(一〇四・五割)

① 一般枠三百三十四万五千七百五十五リットル

(一〇三・〇割)

② 新規枠六千九百三十三リットル

③ 特別枠四万二千四百十七リットル

二、地区別出荷目標数量

一般枠出荷目標数量を次の配分基準により算出し、各地区別に配分設定する。

## (配分基準)

平成六年度計画（目標数量）淘汰

事業による凍結枠数量）四〇割

平成六年度下期実績（全乳ほ育向けを除く受託数量）六〇割

三、達成対策

平成七年度の達成対策は、第三期生乳安全生産対策の検討経過を跡え、「平成八年度以降の地区別生乳出荷目標数量は、前年度出荷目標数量（計画）と、前年度出荷実績数量（実績）を四十対六十のウエイトにより算出設定するものとなります」。

(1) 地区間調整

必要に応じ、期中において地区間調整ができるものとなります。

(2) 未達措置

未達数量に対する措置はとりません。

(3) 超過措置

ア、全道出荷目標数量内の場合、超過措置はとりません。

イ、全道出荷目標数量を超過した場合、超過数量分は次により取り扱うことを基本とします。

① 対象 全道枠外超過数量

② 取扱い 受託扱い

③ 乳代 プール精算

④ 徴収金額 別途定めます。

⑤ 加工処理経費など 全道共計にて負担

⑥ 製品、対価の帰属 全道共計

## II 根室地区

一、根室地区に配分を受けた数量

① 一般枠六十五万七千四百九十リットル

前年計画比一〇一・八割

② 新規、特別枠六千二百六十七リットル

合計六十六万三千七百五十七リットル

前年計画比一〇二・八割

二、各農協別一般枠出荷目標数量

は、平成六年度実績数量を四〇割、

平成六年度実績数量を六〇割の基

準にて基礎数量を算出し、地区配

分数量に対する伸び率一・〇一九

二を一律に乗じて設定します。

③ 特別枠、新規枠は当該者に属す

る出荷目標数量枠として所属JA

へ配分します。

地区及び農協別配分数量は別表ど

おり。

## 1. 平成七年度地区別生乳出荷目標数量 (ト・リットル)

地区名	一般枠	新規特別枠	目標数量	前年比
道南	100,853	527	101,380	103.7
後志	36,924	128	37,052	104.4
日胆	111,357	522	111,879	103.9
石狩	26,573	399	26,972	103.5
空知	34,209	1,176	35,385	105.4
留萌	119,343	321	119,664	101.8
上川	172,407	4,929	177,336	107.3
宗谷	270,278	1,520	271,798	101.6
北見	513,398	8,660	522,058	105.4
十勝	826,263	19,823	846,086	107.2
釧路	476,660	4,238	480,898	103.0
根室	657,490	6,267	663,757	102.8
合計	3,345,755	48,510	3,394,265	104.5

## 平成七年度JA別生乳出荷目標数量 (ト・リットル)

JA名	一般枠	新規・特別枠	目標数量	前年比
標津町	68,602	787	69,389	104.8
中標津町	87,362	1,361	88,723	102.9
計根別	75,477	721	76,198	102.0
上春別	48,408	1,015	49,423	104.3
西春別	88,327	79	88,406	102.6
中春別	92,284	459	92,743	102.1
別海	146,518	1,544	148,062	102.8
根室	47,025	301	47,326	100.8
羅白	3,487	0	3,487	110.2
合計	657,490	6,267	663,757	102.8

# 理事会

## の経過

### 第六回理事会

開催日時 平成七年八月三十日

開催場所 中標津町農協中会議室

#### 〈議案〉

- 一、各種制度資金の貸付について
- 二、新規就農者の就農について
- 三、平成七年度ファム・エイ事業経費の負担について
- 四、平成七年度澱粉工場の操業計画について

- 五、澱粉工場・貨物車両の再リース契約について
- 六、乳質改善と今後の対応について
- 七、サルモネラ病(ダブリン)による淘汰牛に係る助成について
- 八、職員組合からの再要求事項について
- 九、別段貯金利率の改定について

以上、九議案原案通り決定致しました。

#### 〈協議事項〉

- 一、組合員勘定中間協議について
- 二、平成七年度生乳計画生産について
- 三、第二期生乳安定生産対策と酪農経営体育成強化緊急対策事業について
- 四、役員研修について
- 五、第二回婦人海外視察研修旅行の開催について
- 六、アメリカ・カナダ酪農人工授精師視察研修の参加について

#### 〈報告事項〉

- 一、平成七年度末人工授精実施成績について
- 二、平成七年度馬鈴しょ、ビートの作付実績について
- 三、乳製品工場の七月末実績について
- 四、販売事業の推進状況と乳牛消費状況について
- 五、ふれあい広場の経過報告について
- 六、平成七年度七月末購買事業の概況について
- 七、管内組合長会の海外研修について

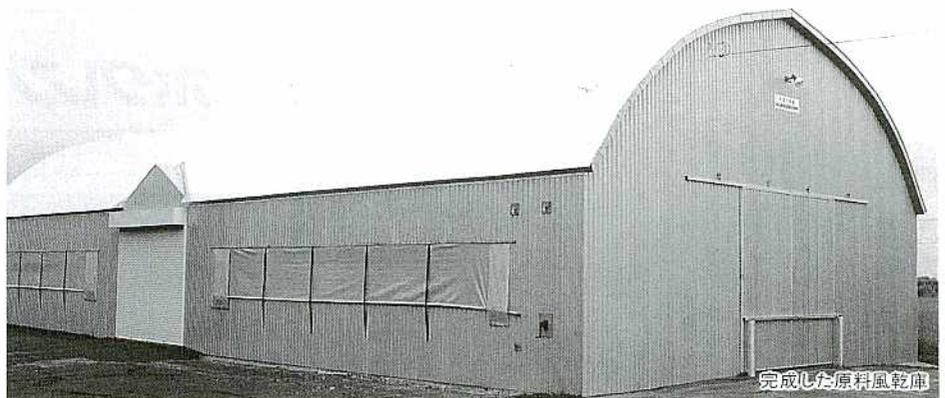
## 馬鈴しょ原料風乾庫、製品保管庫が完成

### 品質向上、販路拡大に期待

生食、加工用馬鈴しょの集出荷施設の充実を図る、馬鈴しょ原料風乾庫及び製品保管庫がこのほど完成しました。

この施設は、高収益農業促進緊急対策事業により建設されたもので、事業費は一千二百五十万円。完成した施設は、現在の馬鈴しょ選別所に隣接し、原料風乾庫一棟(三百四十七㎡)と製品保管庫一棟(百四十九㎡)で、敷地内の舗装工事も合わせて行なわれております。

J Aでは同施設の完成により、馬鈴しょの品質向上を目指すと共に、品質、規格などを厳選し販路拡大、有利販売につなげ、また、馬



鈴しょ生食部会(マリンスファーム)と共に、馬鈴しょの付加価値を高め、生産拡大に向け取り組んでいく計画です。

# 暮らしの

## 知恵森



北根室地区農業改良普及センター

私達の生活は物質的にはとても恵まれています、本当に豊かさを実感しているでしょうか。貯蓄広報中央委員会が行なったアンケートによると、経済的豊かさを実感している人は二九・三割、実感していない人は六九・九割となっています。また、経済的豊かさを実感する条件としてもっとも考えられるものとしては、前者ではマイホームの取得、ある程度の年収の実現。後者はある程度の年収の実現となっています。(図一―一、二) 厳しい経済の様子がわかります。ところで、経済的な豊かさを感

経済的豊かさの実感の有無

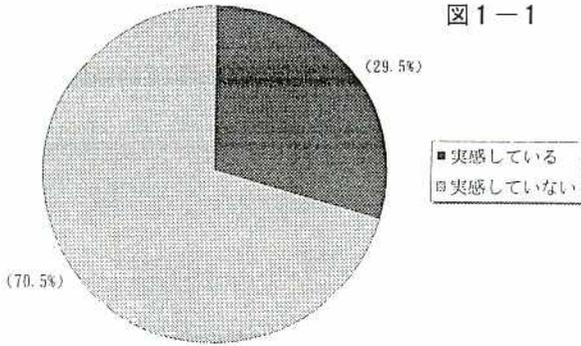
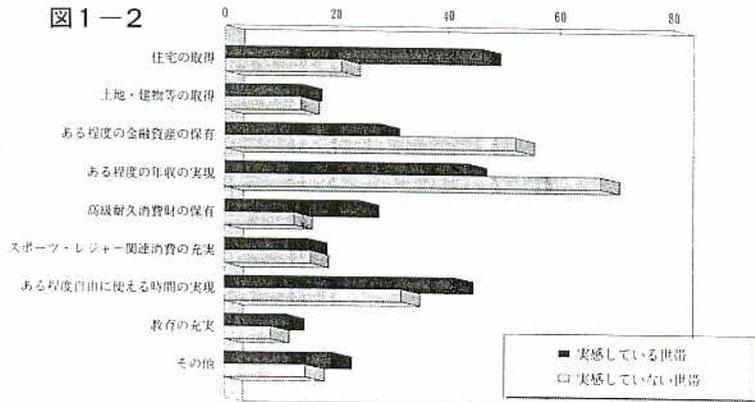


図1-1

長い目で生活  
を見つめよう

図1-2



経済的豊かさを実感する条件

資料：貯蓄と消費に関する世論調査

じるためにはどのくらいの収入、貯蓄が必要なのでしょう。これは人によって生活に対する価値観が違うので様々だと思いますが、どのような生活をしたかという目的、また今という生活が望ま

## ホクレン夢大賞

大賞には賞金100万円

農業者、研究普及、  
農業応援の3部門

ホクレン夢大賞は、北海道の農業、農村の担い手に「夢と希望」をあたえる活動や研究に対して贈られ、農業や農村に活性化をもたらすことを目的とするものです。

農業者自らの創意工夫による先導的な活動、農業、農村の活性化をもたらす研究活動、農業・農村がもつ多面的な役割などに理解を高める報道や交流などの活動を奨励、支援し、北海道農業・農村の発展につなげていきます。

応募部門は、農業者部門、研究普及部門、農業応援部門

しいのかという状況(家族の生活、健康維持、子どもの教育、老後、ゆとりのあり方...)によって決まってくるものだと思います。

それぞれの家庭による生活が充実しているかが、豊かさにつながるのでしょうか。

生活の充実を図るには、現在の生活がどのようなかを理解することがまず大切なことでしょう。

「気がついたら今月はお金がない...」ということは、単にお金がないというだけではなく、生活そのものが見落とされていることだといえるでしょう。生活を充実させるためには、毎日の家計管理は大切なことです。

また、長い目で家族の生活を見ていくことも必要でしょう。家族の成長にあわせて、重視するものが変わってくるはずです。

生活設計策定に際して、重視した事項というアンケートをみても年代によって、重点項目が変化しているのがわかります。(図二)

二十、三十歳代では子どもの教育資金、住宅などの取得について、大変重視され、四十歳代から五十

生活設計策定に際して重視した事項(平成6年)

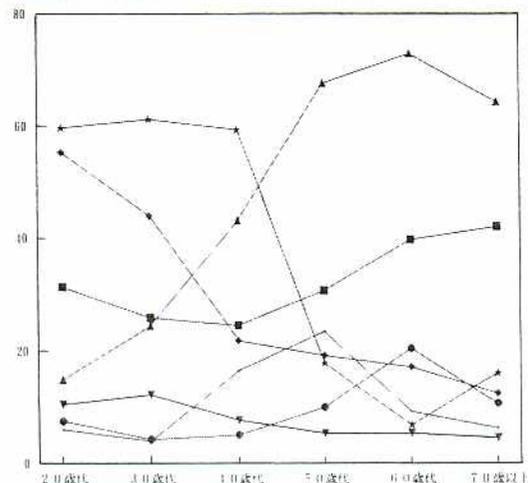


図2

- 計画を持ち、はじめのある生活
- ◆ 住宅の取得、増改築の資金
- ▲ 老後の生活資金
- ✦ 子供の教育資金
- 子供の結婚資金
- ★ 耐久消費財の購入資金
- 旅行レジャーの資金

資料 貯蓄部、那中央委員会「貯蓄と消費に関する世帯調査」

整代には、老後の生活資金についてが急激に高くなっています。また、五十歳代には子どもの結婚資金が重視されるとともに自分自身の生活に対して、計画をもち充実できる生活を考えていく様子が見えま

このような家族の成長の移り変

わりの中で、これからどういう時期にはいつていくかを見極め、上手に生活していくことが、生活の豊かさにつながるのではないのでしょうか。厳しい経済状況だからこそ、しっかりとした生活基盤を作ることが大切でしょう。



の三部門からなり、各部門の大賞には賞状、ブロンズ像の他に賞金百万円が贈られます。応募の締切は平成七年十月三十一日までとなっております。応募、問い合わせがございましたら農協組織広報係までご連絡下さい。



道東の観光地を見学したバス旅行

## 実習中の楽しい思い出作り 実習生バス旅行



日本大学農獣医学部の酪農実習生を中心とした1日バス旅行が8月10日実施され、56人が参加、道東の観光地を見学すると共に、久しぶりの友達と再会し、実習中の苦労話などに花が咲いたようです。当日はあいにく小雨まじりの曇り空でしたが、摩周湖に近づくにつれ青空が顔を出し、ますますの旅行日和り。摩周湖、屈斜路湖、開陽台などを巡り、実習中の良き思い出の1日となりました。

# フ オ ト ア ス レ ズ ム



優勝の俣落チーム、選手みんなでがんばりました

## 俣落チーム 優勝に輝く

農協組合長杯  
ゲートボール大会

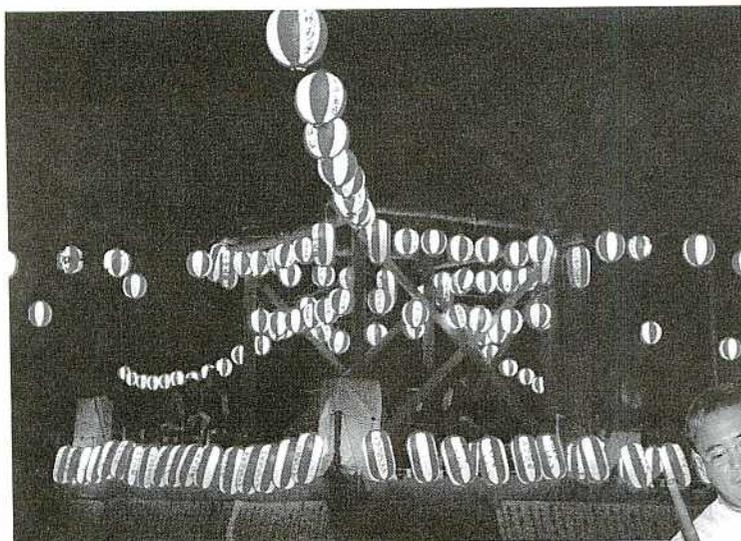
平成7年度農協組合長杯ゲートボール大会が、8月29日、町シルバースポーツセンターで開催されました。

この大会は、高齢者の交流と地域活性化を目的に毎年行なわれているもので、当日は7チーム約70人が参加。

昨年度優勝の第2俣落、西竹チーム内山勲氏の力強い選手宣誓が行なわれ、三友組合長の始球式で大会がスタート。2コートに分かれ14試合の熱戦が繰り広げられ、優勝には俣落チーム、準優勝、第2俣落、西竹チーム、3位、俵橋チームとなりました。



このボールは、どこへ打つのでしょうか



飾りつけられた提灯のやぐら

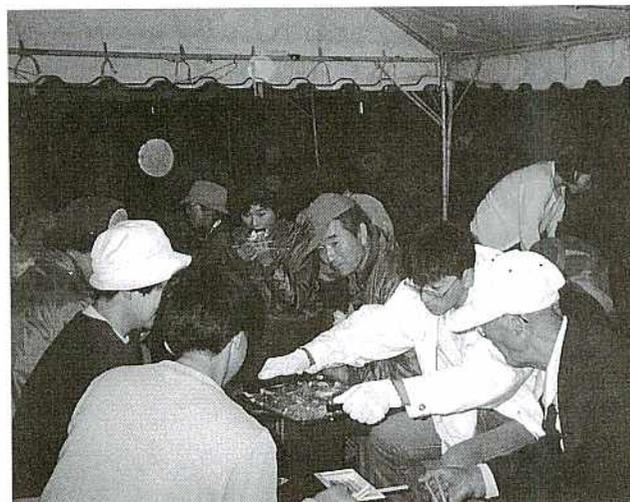


大人でも金魚すくい  
なかなかむずかしい

## 地域の 夏まつり盛況に

大人も子供も楽しい夏の一夜

オット、林家こぶ平  
さんも特別出演



テント内では焼肉を囲み、情報交換が行なわれます

短い夏の一夜を大人も子供も地域全体で楽しく過ごそうと、各地域では夏まつりや盆踊り大会が開催されています。

内容も年々バラエティーにとみ、やぐらに沢山の提灯、大人、子供の仮装大会、地域青年部の趣向をこらした食べ物から金魚やヨーヨーすくいなどの出店が沢山並んでいます。中には、本物の花火30発も打ち上げたところもある様です。

地域で作る、皆んなの夏まつりは、地域の活性化につながっています。



大人、子供の趣向をこらした仮装が、会場をいちだんと盛り上げます

# 8月の 組合日誌

- 1日 婦人部三役会
- 3日 東電学園酪農体験終了式
- 8日 巡回ドック、歯科検診
- 10日 青年部役員会
- 16日 農協ふれあい広場
- 18日 第3回生産委員会
- 22日 熟年会役員会
- 23日 管理購買委員会
- 24日 営農委員会
- 〃 伯爵まつり実行委員会
- 28日 酪対役員会
- 30日 第6回理事会
- 31日 馬鈴しょ振興会役員会
- 〃 〃 全体会議

## 編集後記

短い道東の夏も終わり、朝、夕のすずしきから秋の気配を感じる今日この頃です。酪農では2番草の刈り取り、畑作では馬鈴しょ、ビートの収穫と忙しい時期を迎えます。

先日、じゃがいも伯爵まつりが行なわれました。天候には恵まれませんでしたが沢山の家族連れが訪れ、じゃがいもの収穫を楽しみました。見えないイモを探し、それが予想以上に大きい時の喜びは何とも言えないもの。

収穫の秋を迎え喜び大きい事を期待したいものです。



## レーザー光線が 織りなす光のマジック 開陽台のファンタジー

「開陽台光のファンタジー」～全国ライダー北の大地を語る～が、8月5日、午後6時から開陽台で開催されました。この催しは、開陽台の展望施設及びキャンプ場が全面整備されたのを記念すると共に、中標津町開町50年記念事業の一つとして行なわれたもので、全国から訪れるライダーや観光客、そして地元町民との触れ合いの中で思い出づくりと、さらなる開陽台のPRを願い開催されたものです。

当日は、曇り空で気温も低く、おまけに風も強く、真夏とは思えない天候でしたが、会場には全国から集まったライダーや町民約千人が参加。330度の視界を舞台に暗闇に乱舞する光のマジック、レーザー光線ショーや中標津空港との光のメッセージ交換、ムツゴロウ動物王国の長靴バンドによる野外コンサートなどが行なわれました。

また、野外パーティーでは、中標津町農協青年部、計根別農協青年部などによるサフォーク串やいもち、ケフィアオーレなどが販売され、町特産の品々で舌つづみを打ちながらの楽しい夏の一夜となりました。

家計雑誌

# 家の光

1996年 10月号

お料理カレンダー  
ウィークリー 1996  
定価(本誌とも) 762円

1月号は記録

忙しいお母さんの  
強い味方!

お母さんの毎日の献立と料理に役立ちます。

12月号付録

## 家の光家計簿

1996年版・日記兼用  
定価(本誌とも) 824円

平成8年版から大きく変身！  
家計新時代にピッタリ！

●お母さんのお財布の整理  
●お母さんのお金の整理  
●お母さんのお金の整理  
●お母さんのお金の整理

◆お申し込み受付中